

週間国際経済 2025 (7) No.413 04/18~05/05

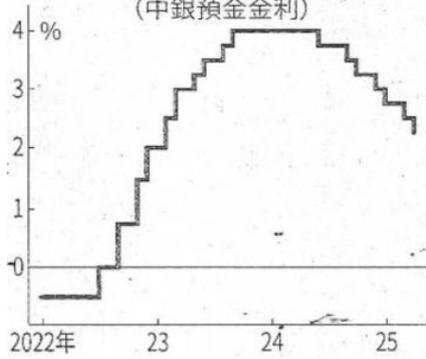
- 04/18・欧州中銀、6連続利下げ 0.5%、トランプ関税踏まえ 成長下振れリスク <1>
- ・米消費、関税駆け込み鮮明 3月小売売上高 1.4%増 需要先食い懸念の声
  - ・英ポンド、半年ぶり高値圏 対ドル、経済堅調を好感
  - ・東南ア、EU・中東輸出開拓 米中貿易戦争の影響軽減 <2>  
関税にらみ FTA 交渉 習氏歴訪も傾斜は回避
  - ・グーグル広告も独占 米地裁認定 検索に続き敗訴 事業分割へ圧力増す
  - ・FRB 議長の退任要求 トランプ氏「利下げ判断遅すぎ」
  - ・消費者物価 3.2%上昇 3月 コメ、最大の 92%プラス
  - ・ハーバード大の免税資格 米政権が停止検討 反 DEI で圧力強める
- 04/19・米同盟国もドル不信 指数 3年ぶり安値圏 有事供給を不安視 <3>
- ・中国、米の隙突き懐柔外交 習氏、東南ア 3カ国訪問 自由貿易の盟主自任 <4>
  - ・停戦仲介見送り示唆 ウクライナ侵略 トランプ氏、譲歩迫る
  - ・EU と関税協定「100%成立」 トランプ氏、メローニ伊首相と会談
  - ・パナマ「中国に問題なし」 ムリノ大統領 運河問題で米に反論
- 04/20・トランプ政権 3ヶ月 不確実性の刃米国も削る 貿易リスク 29倍 トリプル安
- ・予期せぬ原油安 崩れる増産構想 トランプ支持基盤に打撃 LNG 輸出も不透明
  - ・米国株 10%安、歴代最大 政権 3ヶ月 関税政策、相場の重荷
- 04/21・ロシア宣言の「停戦」終了 30時間、双方の攻撃非難
- 04/22・BYD、軽EV 日本投入 来年 国内 4割市場狙う 勢力図に変化も
- ・中国、米依存脱却着々と 大豆購入停止、綿花輸入 9割減 <5>  
関税、持久戦に余力 ブラジル産など代替調達
- 04/23・FRB「口撃」米議会が批判 「大統領に議長解任権限ない」独立性の尊重訴え
- ・ドルの信認揺らぐ 円上昇、140円突破 金、先物 3500ドル超え
  - ・世界成長予測 0.5ポイント下げ IMF 今年 2.8% 関税打撃、米大きく
  - ・「FRB 議長、解任しない」 トランプ氏、前言撤回 円が急落一時 143円台
  - ・テスラ営業益 66%減 1~3月 「反マスク」不買響く 「来月から関与減らす」
  - ・関税合戦「持続可能ではない」 米財務長官 中国と緊張緩和探る  
NY株急伸、一時 1100ドル高 米中貿易摩擦の緩和期待
  - ・「米、関税で無差別攻撃」 中国外相 英・豪などと自由貿易連携
- 04/24・日米交渉「通貨目標求めず」 米財務長官 貿易赤字是正軸に
- ・EU、アップル制裁 800億円 メタ 300億円 デジタル市場法違反で初  
対米関係に苦慮 巨大IT制裁金抑制か 事業モデル岐路に アップル・メタに変革迫る
  - ・米政府効率化省 歳出減、目標の 2割以下
  - ・米軍備「レアアース危機」 中国の輸出制限で打撃 在庫枯渇で製造に影響 <6>

- ・バンス氏、インドで講演 米と世界「経済の再均衡を」
- 04/25・対中関税引き下げ示唆 トランプ氏 市場の沈静化図る
  - ・「プーチンは攻撃止めろ」 トランプ氏、名指しで警告 停戦交渉「期限ある」
  - ・米、日本に為替目標求めず 財務相会談 加藤氏、関税見直し要求
- 04/26・自由貿易「盟主」降りる米国 G20 で関税に批判集中 次の均衡探る世界
  - ・関税摩擦 強気貫く中国 米と交渉「全廃」条件 長期対立視野 G20 で陣営作り
  - ・相互関税、再延期「ない」 上乗せ分巡りトランプ氏
- 04/27・米関税、IT 成長に逆風 世界支出、今年 28 兆円下振れ 民間予想
  - ・トランプ氏とゼレンスキー氏会談 (バチカン)「生産的な協議」米高官
- 04/28・米関税で所得税廃止も トランプ氏 SNS で主張「年収 2900 万円未満」に照準
- 04/29・北朝鮮、ロシア派兵認める ロシア、必要なら軍事支援提供
- 04/30・カナダ首相続投へ 与党勝利確実 総選挙「反トランプ」追い風
  - ・車部品の関税、一部免除 米国内生産車が対象
  - ・EU、米研究者の移住支援 トランプ政権下の「米国離れ」念頭 技術革新の好機に
- 05/01・「米国第一」関税過信の 100 日 トランプ氏演説「国内に恩恵」 <7>
  - ・米、3 年ぶりマイナス成長 1~3 月 GDP0.3%減 駆け込み輸入増
  - ・米に滞留 9 兆ドル 欧州回帰の機運 関税政策受け依存脱却 <8>
  - ・米ウクライナが資源協定 両政府署名 復興基金を創設 米が譲歩 <9>
    - 共同で開発 所有権はウクライナ 「安全の保証」は確約なく
  - ・X、欧州ユーザー1000 万人減 マスク氏極右支持に反発
- 05/02・車世界生産、関税で 2%減 25 年、日本の対米輸出 1 年分 「米国離れ」が顕著
  - ・李在明氏の無罪判決破棄 韓国最高裁 韓首相は辞任、大統領選出馬調整
  - ・日銀、今年度 0.5%成長に下げ 植田総裁 米関税「不確実性高い」
  - ・米国株、海外勢が保有圧縮 3 月以降 9 兆円 関税発、1 年ぶり水準
  - ・円一時 145 円台後半 日米金利差拡大で下落
- 05/03・アップル生産「脱中国」 米向け、印ベトナム移管 関税で負担増 1300 億円
  - ・米、車・鉄は交渉外の意向 関税枠組み案提示 日本は見直し要求
  - ・ウォルツ補佐官解任 トランプ氏 日本の安保政策に影響
  - ・レアアース急騰 1 ヶ月で 3 倍、最高値 中国輸出規制響く
  - ・中東経済、関税戦争の影 成長見通し、IMF が下方修正 原油価格下落が下押し
- 05/04・米、車部品 25%追加関税発動 生産拠点の移管迫る <10>
  - 米生産車、部品の過半輸入 供給網見直し必要
  - ・OPEC プラス大幅増産 6 月、日量 41 万バレル 原油下押し圧力
- 05/05・豪首相 2 期目 21 年ぶり 総選挙、経済負担緩和に支持 野党「トランプ流」反感
  - ・支持首位の AfD 極右認定 独、政党禁止論が再燃
  - ・シンガポール総選挙 与党 9 割議席確保 米関税不安追い風

<1>

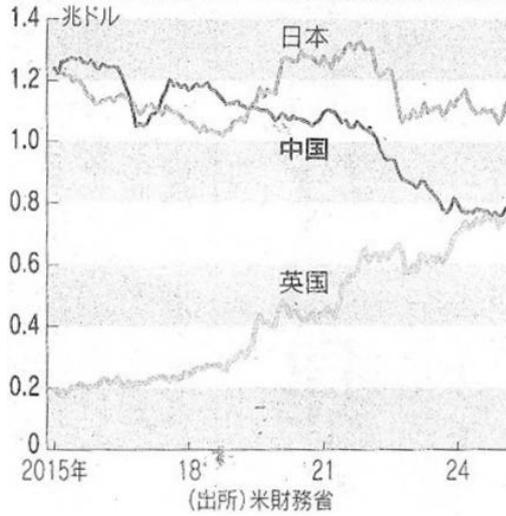
ECBの政策金利の推移

(中銀預金金利)



<3>

中国は米国債の保有残高を減らしてきた



<4>

習氏の東南ア訪問と主な内容



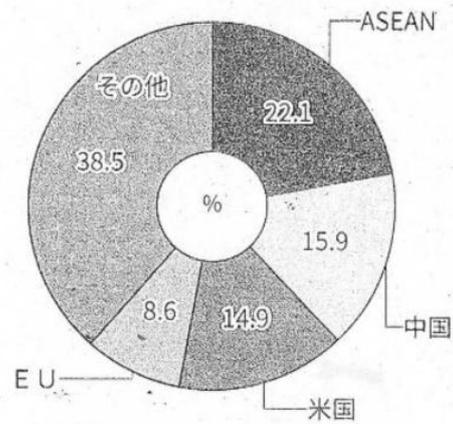
<2>

東南アジアは貿易相手国の拡大を目指す

マレーシア	EFTAとFTA締結。EUとのFTA交渉も再開
タイ	EUとのFTA交渉は年内妥結目指す。インドなど南アジアとも関係強化
インドネシア	中東5カ国を訪問。EUと包括的経済連携協定を年内妥結見込み
ベトナム	EUと包括的戦略的パートナーシップの締結目指す
シンガポール	EUとTPPの連携を主張、ASEANとEUのFTAを提案
フィリピン	EUとのFTA交渉を再開

ASEANの輸出先の約3割を米中が占める

(ASEANの輸出先・地域、2023年)



(注)ASEAN事務局

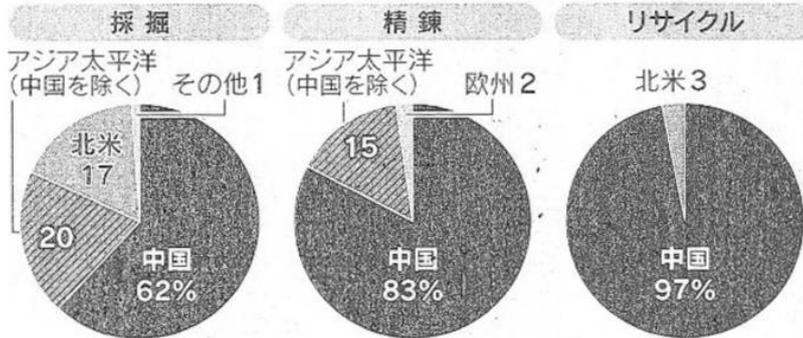
<5>

中国は米国産の調達を減らしている

<b>大豆</b>	1月中旬から購入予約ゼロ 先物価格はブラジル産が米国産を逆転
<b>トウモロコシ</b>	1~3月は前年同期の1%程度
<b>綿花</b>	3月は前年同月比9割減
<b>小麦</b>	1~3月は前年同期比9割超減
<b>鶏肉</b>	3月は前年同月比8割減
<b>原油</b>	1~3月は前年同期比3割減
<b>航空機</b>	航空会社に購入停止を要請

<6>

### 中国はレアアースの供給で圧倒的なシェアを握る



(注) 英調査会社ウッドマッケンジーの分析(2022年時点)を基に作成

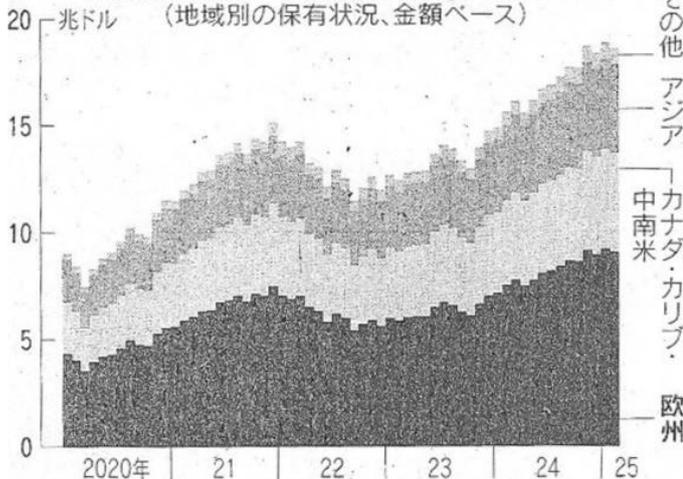
<7>

### トランプ大統領の演説のポイント

<b>関税政策</b>
全ての外国製自動車に25%の関税を発動。米国に多くの雇用を創出する
アップルは米国内で5000億ドルの投資を表明。数兆ドルが米国に流れ始めた
<b>政府効率化</b>
大成功の米政府効率化省(DOGE)を設立。何千人もの無能な官僚は「クビだ」
<b>インフレ問題</b>
ガソリン価格は大幅に低下。インフレの悪夢を終わらせている
<b>金融政策</b>
FRBの人物があまり良い仕事をしていないにもかかわらず金利も下がった
<b>移民対策</b>
国境の侵略から国を守るため米軍を派遣。不法越境者は記録的に減った

<8>

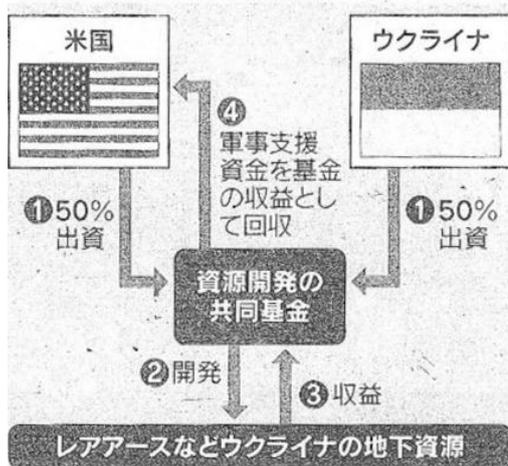
### 欧州投資家の米国株保有は5年で倍増



(注) 米国外居住者の米国株保有額を集計。出所は米財務省

<9>

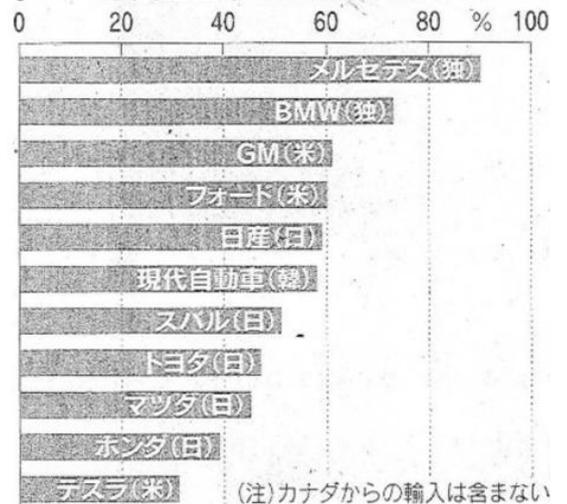
### 米ウクライナの経済協定のしくみ



(注) 米メディア報道などをもとに作成

<10>

### 米国生産車の部品輸入比率



(注) カナダからの輸入は含まない